



学校通信

豊地っ子だより

～ 考える子 はげましあう子 つよい子 ～

令和3年4月7日

No. 1 三木市立豊地小学校
<http://www.miki.ed.jp/el/toyoti/>

令和3年度の始まりにあたり 「志とは？ 目的・目標をもつことの大切さ」

本日より令和3年度の学校生活が始まりました。お子様のご進級、ご入学おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。今年度も新型コロナウイルス感染症の予防に努めていき、子どもたちが健康で安全に学校生活を送れるよう学校運営にあたっていきます。

さて、令和3年度の学校教育目標は「志をもち ころ豊かに たくましく 学び続ける子の育成」として教育活動を行っていきます。

「志」とは、心に思い決めた目的や目標のことです。パナソニックの創業者である松下幸之助さんは、「志を立てるのに、老いも若きもない。そして志あるところ、老いも若きも道は必ずひらけるのである」と言われています。この格言は、私たちに目的や目標をもって人生を送ることで有意義な人生を送ることができることを教えてくれるものです。

子どもたちが社会人として働く時代には少子高齢化・グローバル化が一段と進み、予測困難な時代になっていくと言われていています。その時代を生き抜いていくためには「学びに向かう力」を身につけさせることが必要であると考えられ、令和2年度より小学校では新学習指導要領が実施されました。それを受けて兵庫教育委員会・三木市教育委員会では、学びに向かう力を育成するにあたり学習活動の最初に目標や計画を設定し、振り返りの時間を確保する授業展開を推進するよう指導方針に掲げています。

そこで、令和2年度より本校では、「学びに向かう力」を育成するために学習時には学習目標（めあて）を知らせ、学習後には「どんなことを学び取ったのか」「どのように実生活で活かしていけるのか」「学び方はどうであったか」という振り返りをさせるようにしました。「目標」をもつことで学習への見通しをもって臨み、振り返りをすることで次時の学習への意欲を高めることができます。また、子どもが興味をもつ学習題材を示し、学習後に成果物を作成したり、他学年の子どもに発表できる場づくりを設定したりすることで意欲的に学習できる計画を立てることも行いました。

昨年度の取組から、目的や目標をもって学習することで子どもたちが意欲的に活動している光景を多く見ました。3年生の理科の学習で、「植物の一生」を学習した際、学習目標（めあて）を「植物の育ち方についてまとめよう」と設定して学習を行いました。学習後の振り返りに下記の内容を書いた児童がいました。

・私は初めて「植物の一生」を知りました。植物を植えるということは大切に育てなくてなりません。大切な命を預かる私たちの役目は大切です。だから、家で育てるハウセンカは今日のことを活かして育てたいです。

学校で学んだことを実生活で活かしていきたいという感想を書いています。

このように、学校での学びを実生活で活かしていくことや学び方を考える力といった学びに向かう力、また、毎日、学ぶ時間を決めて計画通りにやり抜く力（自己調整力）などを養っていきたくて考えています。

令和3年度には、昨年度末に導入されたタブレット端末を活用して、総合的な学習の時間での探究活動におけるインターネット検索活動、社会科や理科での動画視聴、漢字や計算技能の定着化に向けたタブレットドリル学習、学習状況を動画撮影することによる学び方の自己点検を行わせるなど、子どもたちが学びに向かうための学習活動を広げていきます。

コロナ禍の中、従来までと同じ取組ができにくいことが予想されますが、子どもたちが生き生きと輝く教育活動が展開できますよう、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度もよろしくお願いたします。

学校長 善村 龍昭